

《〇〇地域》再編統合校舎選定に係る相対評価表(案)

評価項目\学校名	A 小学校	B 小学校	C 小学校
1 校舎の広さ	3,016㎡	3,517㎡	2,644㎡
2 運動場の広さ	7,770㎡	6,998㎡	6,460㎡
3 敷地の広さ	16,074㎡	12,613㎡	13,615㎡
4 施設経過年数	40年4か月	40年2か月	43年2か月
5 教室数	8クラス	6クラス	7クラス
6 通学距離(最長)	5km	6km	5km
7 避難所の機能	避難所2	避難所1	避難所1
8 駐車場の状況	15台	20台	15台
9 埋蔵文化財の範囲	なし	なし	あり
10 周辺施設の距離			
児童クラブ	〇〇児童館 120m	●●児童館 3.9km	△△児童館 3.3km
公民館	◇◇公民館 1.1km	◆◆公民館 450m	□□公民館 1.3km
保育所	〇〇保育所 400m	●●保育所 3.1km	△△保育所 3.5km
幼稚園	◇◇幼稚園 2.9km	◆◆幼稚園 450m	△△幼稚園 同一敷地内
病院等	◎◎診療所 2.3km	なし	☆☆診療所 1.5km
その他	-	-	-

相対評価表の評価の視点

評価項目	視点
1 校舎の広さ	統合後の児童数に対し、校舎の面積が小学校設置基準で定める基準を越えているか。※1
2 運動場の広さ	統合後の児童数に対し、運動場の面積が小学校設置基準で定める基準を越えているか。※2
3 敷地の広さ	統合により校舎等の増築が必要となった際の拡張性
4 施設経過年数	残耐用年数が何年残っているか。※3
5 教室数	統合後の学級数に対しての受け入れ可能性
6 通学距離（最長）	市の適正配置についての基本的な考え方に合致するか。※4
7 避難所の機能	ハザードマップからの立地条件※5
8 駐車場の状況	駐車場の整備状況
9 埋蔵文化財の範囲	校舎、校舎周辺が埋蔵文化財の指定区域に含まれるか。※6
10 周辺施設の距離	放課後児童クラブの実施場所等関係施設との距離

備考

※1 校舎の面積の基準

児童数	面積 (㎡)
1人以上40人以下	500
41人以上480人以下	$500 + 5 \times (\text{児童数} - 40)$
480人以上	$2,700 + 3 \times (\text{児童数} - 480)$

※2 運動場の面積の基準

児童数	面積 (㎡)
1人以上240人以下	2,400
241人以上720人以下	$2,400 + 10 \times (\text{児童数} - 240)$
721人以上	7,200

※3 日本建築学会で示しているRC造、SRC造の望ましい目標耐用年数 65年

※4 市の適正配置の基準 スクールバスを活用した際の通学時間が概ね1時間以内

※5 ハザードマップにおける避難所機能

避難所1 洪水時に避難する避難所

避難所2 洪水時に床下浸水するが避難可能な避難所

避難所3 洪水時に浸水するが2階以上に避難可能な避難所

避難所4 洪水時に浸水する又は土砂災害の危険があるため地震時のみ避難可能な避難所

※6 埋蔵文化財を包蔵する土地で土木工事等を行う際は、届出等の手続が必要となり工事の進捗に影響を与える可能性がある。